

会 長：長友芳郎 幹 事：川上 勉
事務所：〒301-0824 茨城県龍ヶ崎市下町 2842

連絡先：TEL 0297-64-3956 FAX 0297-64-3978 <http://rcrc.web5.jp>
例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 ザ・ゴルフクラブ龍ヶ崎

本日のプログラム

【移動例会 12.02】
総 会
(次年度役員選出)
クラブ管理運営委員会



次回のプログラム

【移動例会 12.09】
会員卓話
(幸福の尺度)
クラブ管理運営委員会

第 1149 例会報告 (2022.11.18)

点 鐘	会長 長友芳郎
国歌斉唱・R ソング	
本日のプログラム	特別月間 ローターリー財団について
ゲスト・ビジター	
ロータリー財団月間	

会長報告

長友芳郎 会長

■ 今月はロータリー財団月間です。松山さん卓話よろしく
お願いします。



ロータリー財団は
1916-17 年度ロータリー会
長となったアーチクラブに
より提唱された基金がもと
になり、1928 年ロータリー

財団と改称されました。アーチクラブはクリーブランド管弦
楽団にフルート奏者やマネージャーとして 14 年間所属して
いました。私の記憶ではクリーブランド管弦楽団は人気の
あるオーケストラだと記憶しております。古くなりますがこの
オーケストラの指揮者のジョージセルやロリンマゼールも人
気があったと記憶しています。

また 50 年以上前の話になりますが日本で人気のあったフル
ート奏者を思い出しました。ジャンピエールランパルで 18
金のフルートで演奏していたのが印象的でさぞ重かるうとい
う思いでした。話が横道に外れましたがロータリー財団の
ご理解ご協力をお願いいたします。

幹事報告

川上 勉 幹事

❖ 12 月 3 日ホテル日航つくばに於いて、国際奉仕セミナ
ーが開催されます。海老原委員長出席お願い致します。

❖ 11 月 13 日取手にて、臨時の会長幹事会が開催されま
した。パスをしている取手、守谷、龍ヶ崎中央のガバナー
補佐の件です。次年度は竜ヶ崎ロータリーより池田先生が
予定です。次々年度は取手・守谷より出す予定ですが、
当クラブより 4~6 年後に回りますので、三枝さんよりの提
案で IM 及びゴルフコンペを開催しない等のクラブでの報告
をする必要があります。

❖ 12 月 10 日第 7 分区の第 2 回会長幹事会が水海道で
開催予定です。

XmasDrop 支援金

❖ 2022.11.08.17:30 より、苫小牧東 RC を Kye Station と
して、Guam Sunrise Club、Andersen Air Force Base の 3
局を結んで Zoom による「Xmas Drop 支援金 贈呈式」を
行った。苫小牧からは岩倉博文市長、田辺真樹 AG、地
区国際奉仕委員長等が参加され、グアムからは、坂元氏
をはじめ、Christmas Operation Organization (クリスマスド
ロップ協会アメリカ空軍曹長) Pablo Gonzalez Martinez
Sergeant Major、Japan Consulate Guam / グアム日本国
総領事館在ハガツニャ総領事小林敏明総領事、South
Pacific Memorial Society (南太平洋戦没者慰霊協会理事
事日本人会会長) 青木一美様が出席された。

出席状況

会 員	8 名	出席率	100.00%
出席者	6 名		
出席免除	0 名	Make-up	0 名
定款第 10 条(第 6-7 節除く)			

ニコニコボックス

目標額	(本年度)	400,000 円	
実績額	本日/累計	13,000円	186,000円

MESSAGE

長友会員	財団月間です。皆さんの御協力をお願いしま す。
川上会員	財団 150+30ドル目標です。
荒木会員	次回は総会。浅草もうでは 12 月 23 日のクリ スマスイブですね。
石崎会員	うなぎおいしかったですか?
伊藤会員	松山さん、卓話よろしく申し上げます。
海老原会員	久々の例会場での例会です。
松山会員	コーヒー焙煎途中で出てきました。
横山会員	正副会長会のため水戸へ行きます

《 例会の欠席は、水曜日 AM 10:00 までに川上幹事
TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。 》

地区大会 2022-23

ロータリー財団の歴史

ロータリー財団委員長：松山美法

●ロータリー財団の正式名称：国際ロータリーのロータリー財団

●ロータリー財団の使命：ロータリアンが、健康状態を

改善し、教育への支援を高め貧困を救済することを通じて世界理解、親善平和を達成できるようにすること。

●ロータリー財団の父：六人目のRI会長「アーチ・クラumpf」
1917年

クラumpf氏は、にアトランタ国際大会で「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で事前教育その他社会奉仕の分野で何かいいことをしようではないか」と提案しました。

クラumpf氏はロータリーを不滅のものにする手段として基金を構想しました。「ロータリー財団はレンガや石の記念碑を建てるものではない。たとえ大理石に碑名を刻んだとしてもやがては崩れてしまうだろう。真鍮を使ったとしてもいつかは汚れてしまうだろう。だが心の中に碑名を刻むなら、そしてロータリー精神と神を畏れ同胞を愛する気持ちを吹き込むならば、我々が刻んだものは永遠に輝き続け、文明の続く限りロータリーを不滅のものとするだろう。」とも述べています。

この数か月後、この新しく誕生した基金は、アメリカミズーリ州カンザスシティーロータリークラブから、最初の寄付金 26ドル 50 セントを受け取ります。これはクラumpf会長への記念品の購入資金でしたが、記念品の代わりに基金に寄付することを決定したのです。

1928年

ミネアポリス国際大会において「基金」は「ロータリー財団」と改名されます。改名して初の補助金 500 ドルは国際障害児協会へ送られました。

当時、管理委員であったアーチ・クラumpfは「我々はこの財団を今日明日の時点ではなく、何年、何世代の尺度で見つめるべきです。なぜならロータリーは幾世紀にもわたる運動だからです。」と述べています。クラumpf氏は、この目的の達成方法として、学生の交換、グループの交換、国際事業関係を通じての友好などの例をあげています。

1947年

ポールハリスがなくなると多くの人々から国際ロータリーに寄付が寄せられた。この寄付はポールハリス記念基金となってその後のロータリー財団の発展のために役立てられた。財団初のプログラム、「フェローシップ」を開始。米国、ベルギー、英国、フランス、メキシコ、中国の 18 人の若い人たちが選ばれ他国で専門分野を学びます。このプログラムは後に国際親善奨学生として知られるようになります。

1951年

アーチ・クラumpf死去。ポールハリス記念基金のおかげで、ロータリーの理想を掲げるプログラムを創設できるようになり、

クラumpf氏が世を去る時まで当初考えていたような国際奉仕に献身する団体に発展していました。

1978年

日本で 2 回目の国際大会が開催。保健、飢餓追放及び人間性尊重補助金プログラムを開始。プロジェクト第一号としてフィリピンの 600 万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年

全世界でポリオの撲滅を目指す ポリオプラス プログラムを設置

1987年～88年

初めての平和フォーラムが開催され、これがロータリー平和 fellowship 創設のきっかけとなります。

2013年

世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう新しい補助金、地区補助金、グローバル補助金、パッケージグラントを導入。

地域づくりのための活動やグローバルなイニシアチブを資金面で支えているのがこのロータリー財団。クラブや地区に補助金を提供しているほか、ポリオの撲滅や平和の推進といったグローバルなキャンペーンを展開しています。

こうした活動や補助金を実現させているのが、われわれからロータリー財団への寄付です。

●アーチ・クラumpf氏 について

貧しい少年時代をへて アメリカオハイオ州クリーブランドで実業家として大成功した 人物です またフルート奏者やスポーツマンとしても活躍しました。彼は国際ロータリーの新定款を起草する委員会の委員長として地区を設け、地区ガバナー職をつくり、年次地区大会を確立するのに貢献しました。また 全ロータリークラブのために標準ロータリークラブ定款と細則をかき上げ、それは 1915 年に採択されました。

ロータリーの初期においてアーチ・クラumpf氏の仕事はロータリーの発展に必要な「結束」を築くことでした。

まとめ

1917 年に 26 ドル 50 セントの寄付から始まったロータリー財団は 10 億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。財団はこうして多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。

